

く、南の温暖気団ではDが大きいといえるので第Ⅱ型も寒冷気団に支配される程度が強いようである。

また第Ⅰ型では日平均風速が5 m/sをこえるが第Ⅳ型では大体3 m/sであり、第Ⅱ、Ⅲ型ではその中間にあることも気団と乱れとの関係をあらわしているものといえる。

10. むすび

徳島における大気汚染の可能性を検討するためおよび将来の汚染予報のための基礎資料の一つとして手初めに手近にある材料を使って乱流特性についての平均状態を調べた結果を得た。

- 1) 風向の変動幅に応じて乱流特性を4階級に分け、その日変化、年変化を求めた。
- 2) 乱流特性の発現と風向、風速の関係を求めた。
- 3) 乱流特性によって大気安定度を定性的に推定することができ、その年間の平均的発現の態様がわかった。
- 4) 1日の乱流特性の分布型には季節により特徴があること。
- 5) 1日の乱流特性の分布型と気圧配置との間には、はっきりした関係があり、これを4種の型に分けることができた。これはまた気団の発現地とも密接な関係があ

ることがわかった。

参考文献

- 1) Pasquill, F.: The Estimation of the Dispersion of Windborn Material, Meteorological Magazine, 90, 33-49, 1961.
- 2) Cramer, H.E.; A Practical Method for Estimating the Dispersal of Atmospheric Contaminants, Paper presented at First National Conference on Applied Meteorology, Hartford Conn, Oct. 1957.
- 3), 5) Magill, P.L., F.R. Holden, C. Ackley,: Air Pollution Handbook, 1956, McGraw-Hill Co.
- 3) Hewson, W.: Atmospheric Pollution, Compendium of Meteorology, P. 1150.
- 4) 伊東疆自: 大気汚染と制御, 地人書館.
- 6) 出淵重雄, 永田正明: 阿南地区の気温垂直分布(第1報)昭和40年度四国地区気象研究会誌.
- 7) 箕輪年雄: 大気汚染の予報, 気象研究ノート, 14巻3号.; 中野道雄: 大気汚染の分布とその機構に関する研究, 気象研究ノート, 12巻2号.
- 8) 大田正次: 逆転層と煙の拡散, 気象研究ノート, 11巻5号.
- 9) 高橋浩一郎: 動気候学, 岩波書店.

[書評]

畠山久尚著: 気象とともに, 376頁, 昭和41年(地人書館)

行き帰りの電車の中で、雑本を読むのを習慣にしているが、かなり読めるものである。最近は何の加減か知らないが、これはと思う本にぶつかることが少く、最後まで読みつづける元気を失うことも多い。しかし、本書はひさしぶりで、面白いと思って読み切った本の一つである。

これを読んでいて、まず感じたことは、寺田寅彦の香である。非常に読みやすく、しかもしみじみとしたものを感じさせられる。どこがどうというわけではないが、ふつうの人が書いたのではなかなかこうは書けないものである。

内容は三部にわかれ、はじめの1部は科学随筆、2部は故人となった先生や知り合いの思い出、著者の自叙伝的随筆、3部は戦後の外国旅行記である。第1部は随筆とはいっても、たとえば真珠雲と夜光雲など、学問的にも教えられるところが多い、2部には岡田、藤原先生に関するものをはじめ、永松君の思い出にまでふれられ

ている。永松君といっても、いまでは御承知ない方も多いであろうが、東大の地球物理出の若い気象学者である。戦後海軍から気象台に入ったが、戦争中の無理がたたり、行政整理の後若くして亡った人である。紹介者としても思い出の深い人である。第3部の「パス・ポートが旅行する」は戦後日本人の外国旅行者が経験をした、苦勞の物語りである。巻末には著者の著書及び論文の目録、年譜も付せられてある。

著者はいうまでもなく前気象庁長官である。昭和3年に中央気象台に入り、あしかけ38年の長きにわたり、気象界で生活をし、今日の気象界の中心人物として活躍して来た方である。本書はこの点で、単なる個人の思い出ではなく、気象界の歴史の一面でもある。

あとがきにあるように、定年退職を機会にまとめて、知り合いに寄贈されたものであるが、聞くところによると、希望者は580円で地人書館から手に入れることが出来るそうである。

一読をすすめてもよい本の一つのように思うので、あえて、紹介する次第である。(高橋浩一郎)